

科目区分	専門分野	履修学年	1年後期	単位数	1	時間数	15
科目名	ヘルスアセスメント			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1)メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント						
テキスト以外の教材・参考書等	1)メディックメディア 看護が見える③フィジカルアセスメント 2)インターメディカ 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>対象の健康状態を適切に把握し、個々の状態に応じた援助を行うためには、ヘルスアセスメントの能力が重要になる。ヘルスアセスメントは、対象を形態的・機能的側面から把握するための最も基本的で重要な看護技術である。解剖生理、病態学の知識を踏まえ、ヘルスアセスメントの知識、観察力、判断力がつくようにする。バイタルサイン測定は生命徴候とされる。また、ヘルスアセスメントは、看護過程や看護方法論、実習につながる科目である。実践で活用できるような技術の習得に向ける。</p> <p>対象の健康状態を把握するためのアセスメントに必要な基礎的知識と基本技術を学ぶ。</p>							
<p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントの目的・意義が理解できる。 2. 身体各部の観察方法、アセスメント方法について理解できる。 3. バイタルサイン測定の基本的技術を習得できる。 4. 身体各部の観察、バイタルサイン測定で得られた情報から健康状態のアセスメントができる。 							
評価方法	筆記試験 演習参加状況・レポート						
備考	バイタルサイン測定の援助計画を事前に記載し、演習時に持参する 関連科目：解剖生理学, 病態学						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	ヘルスアセスメントと看護の役割 ヘルスアセスメントとは フィジカルアセスメントとは フィジカルアセスメントの展開	
2	フィジカルアセスメントに必要な技術 問診、視診、触診、打診、聴診	
3	フィジカルアセスメントに必要な技術 バイタルサイン測定の基本知識	
4	バイタルサイン測定の実際	モデル人形（シナリオ）を用いて演習
5		
6	呼吸器系のアセスメントの実際 循環器系のアセスメントの実際 消化器系のアセスメントの実際 系統別アセスメント	モデル人形（シナリオ）を用いて演習
7		
8	終講試験 まとめ解説	